

じやがいも

大西洋沿岸州が大生産地

カナダは小麦、大麦などの穀物あるいは油糧作物の生産地として世界的に有名だが、じやがいも特に種じやがいもの生産地である。

とりわけ大西洋側のニュー・ブランズウイック、プリンス・エドワード・アイランド両州では、じやがいもは最も重要な農産物であり、カナダ全体としても、生産高、生産額のいずれの点でも最も重要な野菜となっている。

ニュー・ブランズウイックには、大規模なじやがいも加工産業があり、じやがいもをチップやフレーク、あるいはフレンチ・フライにして冷凍し内外各地に送り出している。

各農家は代金を二回に分けて、すなわち穀物を納入した時点（頭金）と、その年度の小麦会計を締めた時点（最終支払い）で受け取る。

国内消費の食用小麦は、買い入れ、売り渡しが二重価格制になつており、農家は一定の価格を保証されているが、それ以外の小麦の価格は、国際市場の動向によつて左右される。

キヤノーラ

食用油などに最適

精製したキヤノーラ油は、天ぷら油やサラダ油として好まれている（カナダで使われている食用油はキヤノーラ油が一番多い）。ショートニングやドレッシング、マヨネーズの原料にもなり、ピーナツバターにも天然の乳化安定剤として利用されている。またキヤノーラを搾油す

めに大きい。

カナダ小麦局

平原州の麦取引を管理

カナダ小麦局は、平原諸州でとれる小

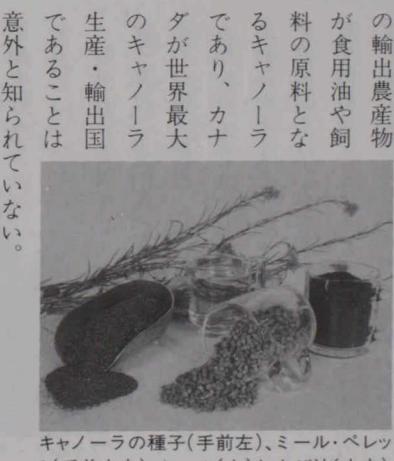
麦、大麦、からす麦に関して、国内他地域への販売および海外輸出を独占的に扱う公的機関である。

小麦局は、①最善の価格でできるだけ大量の小麦を売る②農民のために価格の安定をはかる③農民に対して平等の出荷機会を与える——を努力目標にしている。

小麦局はエレベーター（穀物貯蔵庫）

の収容余力や輸出動向などを見ながら生産者に出荷割り当てを行い、農家の手

取り価格も小麦局の販売価格（主として輸出価格）に準じて小麦



キヤノーラの種子（手前左）、ミール・ペレット（手前中央）、ミール（右）および油（中央）。

キャンファーム

農業経営に各種のサービス

農家に適切な経営情報を提供し、経営指導を行う全国機関が、キャンファーム（カナダ農業経営データシステム）である。

これは、各地の大学、州農務省、連邦政府農務省が共同して、全国共通の農業経営方式を開発・普及させようと設立したもの。

一九七九年まではカナダ政府が中心となつて運営してきたが、七九年に民間に移され、農業関係団体が共同で管理するようになつた。

現在は、農民の具体的な利益につながる各種の事業を実施している。たとえば事業計画に加入登録している農家を対象にコンピューターによる経営分析サービス、あるいは経理記録システムや経営プラン・パッケージを提供するなど、きめ細かいサービスが好評である。

チーズ

世界的に有名なチエダー

カナダは畜産が盛んで、酪農も発達しているから、すぐれたチーズがあつて当然だが、日本で知っている人は案外少ない。

実際に得られるキヤノーラ・ミールは、栄養価に富む高タンパク家畜飼料として、評価が高い。日本が輸入しているなたね（年間約百二十万トン）の九割はカナダ産。



局が決定する。

各農家は代金を二回に分けて、すなわち穀物を納入した時点（頭金）と、その年度の小麦会計を締めた時点（最終支払い）で受け取る。

た粕（ミール）は良質の飼料となるなど、すぐれた特性を備えている。栽培に便利、また米糠（ミール）は良質の飼料となるなど、すぐれた特性を備えている。栽培

栽培に便利、また米糠（ミール）は良質の飼料となるなど、すぐれた特性を備えている。栽培

栽培に便利、また米糠（ミール）は良質の飼料となるなど、すぐれた特性を備えている。栽培